

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2019年4月1日 発行

■ 本号の内容

- 発電所の業務をご紹介します
- 原子力防災訓練を繰り返し実施しています
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 地域とともに ～スポーツ少年団で少林寺拳法の指導をする所員～
- 発電所データBOX



富岡町夜の森「桜のトンネル」 (撮影場所:富岡町夜の森南 撮影日:2018年4月2日)

当所では、すべての燃料（約1万俵）を使用済燃料プールで安定的に冷却・保管しています。運転員は、燃料の安定冷却を継続するために24時間体制（12時間毎に交代）でプール水の温度や水位、設備の状態を中央制御室で監視しています。

また、現場の点検では、稼働している機器に直接触れて健全性も確認しています。

これらの情報は交代する運転員へ確実に引き継がれ、発電所全体を監視し続けています。



中央制御室での監視（データの採取）



中央制御室での監視（設備の状態を確認）



直接機器に触れて運転状態を確認



現場の状況等について交代する運転員へ引き継ぎ

運転員としての責任を胸に

－担当する現場の巡視点検で心掛けていることは

現場での点検の際は、どんな小さな変化も見逃すことのないよう「見て、聞いて、触って、嗅いで」機器が正常に稼働していることを確認しています。

－運転員としてのやりがいと今後について

発電所の設備を常に監視しているのは、現場のすぐそばにいる私たち運転員です。

その運転員としての仕事に大きな責任を感じています。

地域のみなさまにご安心いただけるよう、燃料の安定冷却に携わる一人として、今後も引き続き、安全への意識を高く持って業務に取り組んでいきます。



運転管理部（兼 作業管理グループ）

せや ゆきまさ
瀬谷 侑成
(いわき市出身)

原子力防災訓練を繰り返し実施しています

原子力災害が発生した際に、防災組織が有効に機能し、事故収束が的確にできることを確認するため、原子力防災訓練を繰り返し実施しています。

訓練では、燃料冷却に必要な電源の喪失や火災の発生といった災害を想定し、対策本部長の指揮のもと、電源車による電源確保や消火活動などを行います。

引き続きさまざまな状況を想定した訓練を重ね、災害対応力の強化を図っていきます。



対策本部長として指揮を執る所長 (2019年撮影)



対策本部全体の様子 (2019年撮影)



電源車を使った電源確保訓練 (2018年撮影)



消火訓練 (2018年撮影)

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

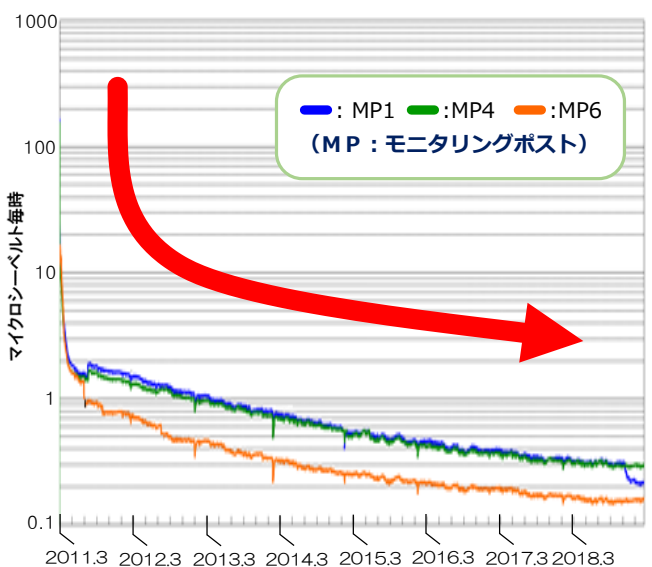
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2019年3月27日 時点

0.09 [MP7] ~ 0.32 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2019年2月28日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (帰還困難区域含む)	0.07 ~ 1.94	楢葉町	0.04 ~ 0.24
広野町	0.06 ~ 0.18	川内村	0.05 ~ 0.30

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2019年3月27日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：福島県放射能測定マップより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

福島第二原子力発電所で働いている所員の多くは、県内の出身者です。今回は、発電所を立地させていただいている楡葉町のスポーツ少年団で、子供たちに少林寺拳法の指導を行っている所員についてご紹介します。

子供たちの健全な育成のために



原子力人材育成センター
福島第二原子力発電所グループ

草野 勝弘 (楡葉町出身)

趣味：バイクに乗ること、アウトドア

－職場ではどのような業務をしていますか

当所の運転員や工事監理員、新入社員などに対して、業務に必要な知識を身につけてもらうため、研修や講習会等を計画・運営しています。

－少林寺拳法の指導について

私は、子供の頃から楡葉町で少林寺拳法を学んできました。震災後、楡葉町で小中学校が再開されたのをきっかけに、子供たちの健全な育成に少しでもお役に立てればと思い、スポーツ少年団を立ち上げました。

－福島への想いを聞かせてください

私は自然豊かで人が明るい楡葉町が好きです。少林寺拳法を通じて、子供たちが思いやりや助け合いの心、自信・勇気・行動力を持てるよう、指導に努めていきたいと思っています。



練習は楡葉中学校武道館2階で週に2回19:00～21:00
主に小中学生を対象に指導を行っています



防火教育（火災等の発生防止に努めるための教育）の講師を務めている様子

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,567人※です。(2019年2月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約1,000～1,100人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	392人	1,823人	2,215人 (86%)
県外	55人	297人	352人 (14%)
合計	447人	2,120人	2,567人 (100%)

編集後記

4月13日(土)楡葉町に新設された屋内体育施設「ならばスカイアリーナ」がオープンするそうです。

同施設には、フットサルなどの試合ができるアリーナの他、温水プールも併設されるとのことで、我が家の子供たちも、町内でプールに入れることを楽しみにしています。

私も健康づくりのために、子供たちと一緒に「ならばスカイアリーナ」を利用してみたいと思います。 【関】



福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は燃料の安定冷却を継続してまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)